

令和8年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請関係様式

●R8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和7年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
39305北川村	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	生活科と総合的な学習の時間に実施している地域学の時間を充実させるために、地域や関係機関との連絡・調整の教員への負担が大きく、時間外勤務の増加が懸念される。	推進員を小学校・中学校へそれぞれ1名ずつ配置し、総合的な学習の時間に関する地域や関係機関との連絡調整を行い教員の負担の軽減につなげる。	推進員を小学校・中学校へ配置したことにより、総合的な学習の時間に関する地域や関係機関との連絡調整を行い教員の負担の軽減につながっており、引き続き取組を継続する。	教職員の業務負担が軽減され、時間外勤務を行う教職員が減少する。	時間外在校等時間が月45時間以内の教職員の割合	32	時間	30		
39305北川村	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	【放課後子ども教室】村の高齢化や勤務時間帯、勤務時間数の観点から、支援員の確保が課題となっている。	支援員に定期的に今後の勤務についてヒアリングを行い、人員が不足しそうな場合は事前に募集をかけるようにする。	支援員との定期的なヒアリングが実施できており、現状の人員との連携ができている。また、2名追加募集を実施し、人員の確保に努める。	より安心・安全に子どもの見守りを行うことができる。	月に1～2回の支援員へのヒアリングの実施回数(12回)	83	%	100		記載不要
39305北川村	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	授業時数等の関係で授業内で取り組めない体験活動は、郊外活動(放課後子ども教室、公営公設塾その他の取組)を有効活用して事業展開をしていく必要がある。	校外活動として体験活動を強化することにより、非認知能力や自己表現力を高める。特に公営公設塾における体験的な探究学習の充実を図る。	非認知能力や自己表現力の向上に公営探究塾の活動は非常に効果が表れているので、来年度以降も引き続き取組を継続していく。	様々な体験を通し、子ども達の非認知能力や自己表現力が向上する。	放課後等における体験活動の日数	41	回	42		